

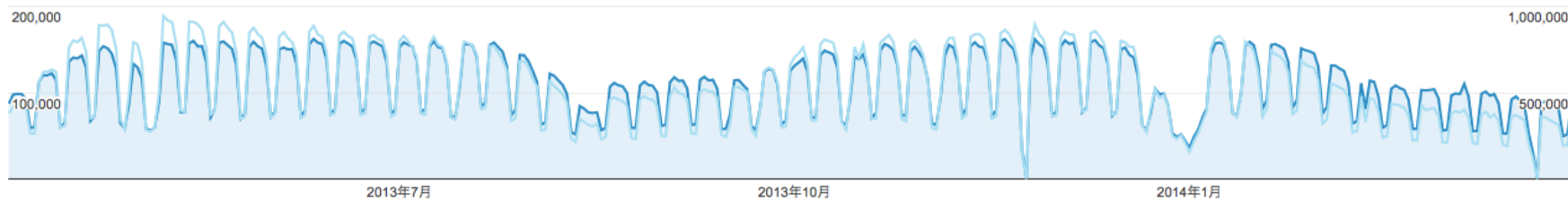


国立情報学研究所・コンテンツシステム開発室 大向 一輝(@i2k)

この1年



Articles



セッション

40,143,876



ユーザー

18,396,026



ページビュー数

197,560,702



ページ/セッション

4.92



平均セッション時間

00:03:49



直帰率

52.41%

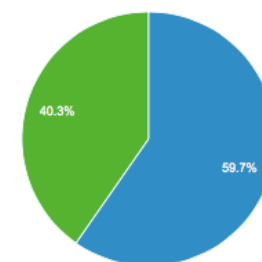


新規セッション率

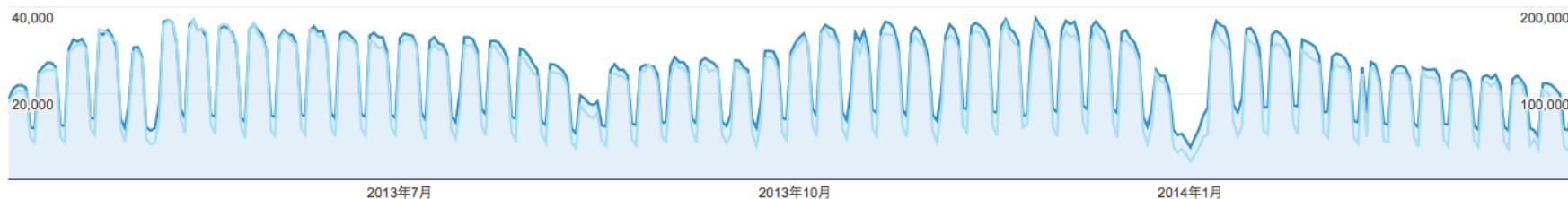
40.24%



Returning Visitor New Visitor



Books



セッション

9,050,088



ユーザー

4,616,145



ページビュー数

40,966,995



ページ/セッション

4.53



平均セッション時間

00:05:05



直帰率

47.55%

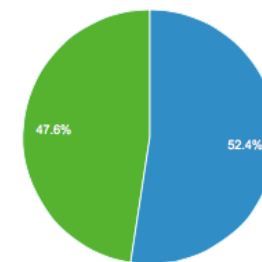


新規セッション率

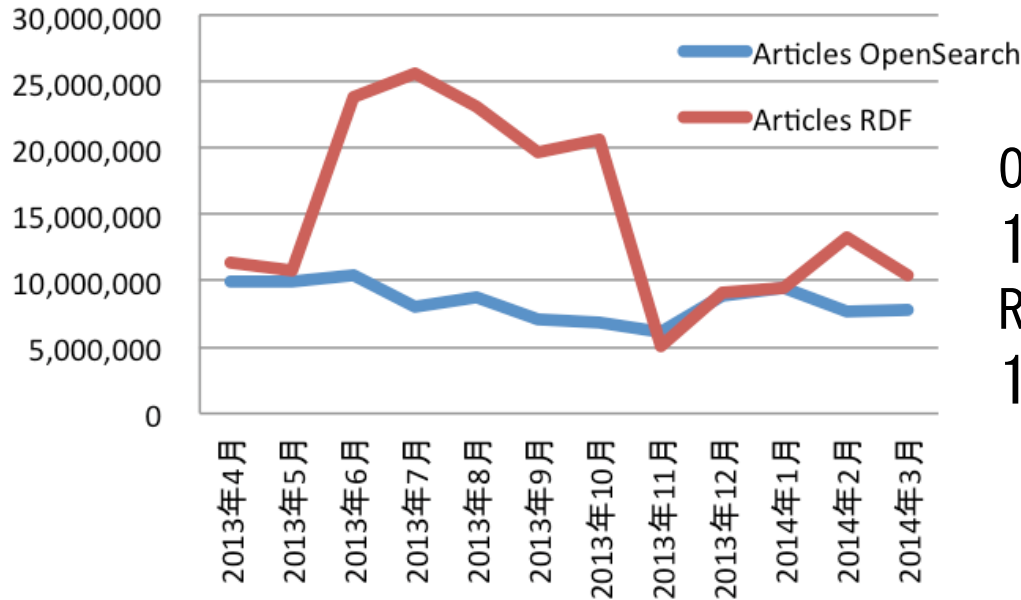
47.53%



Returning Visitor New Visitor



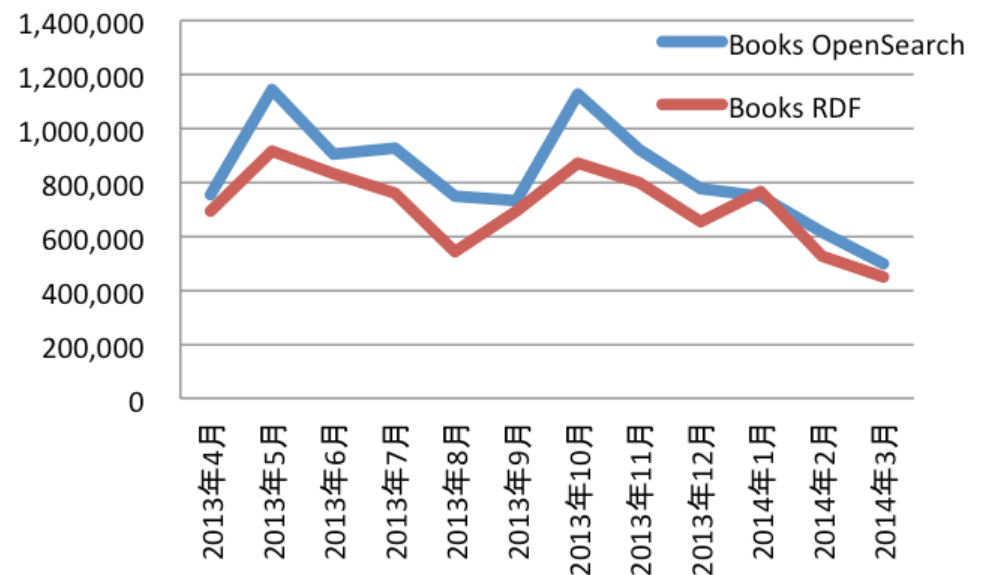
Articles API



OpenSearch
100, 946, 269
RDF
182, 235, 701

OpenSearch
9, 902, 483
RDF
8, 512, 362

Books API





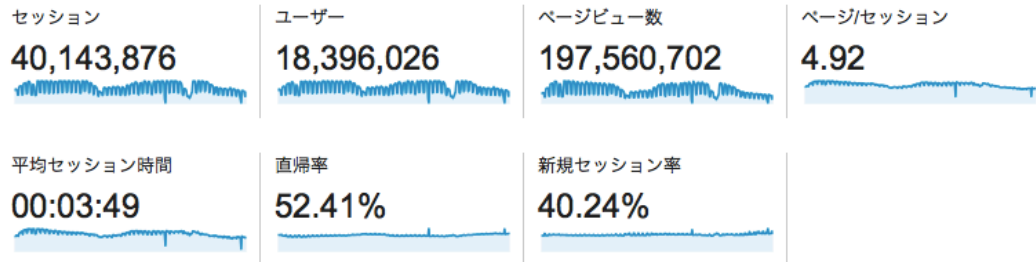
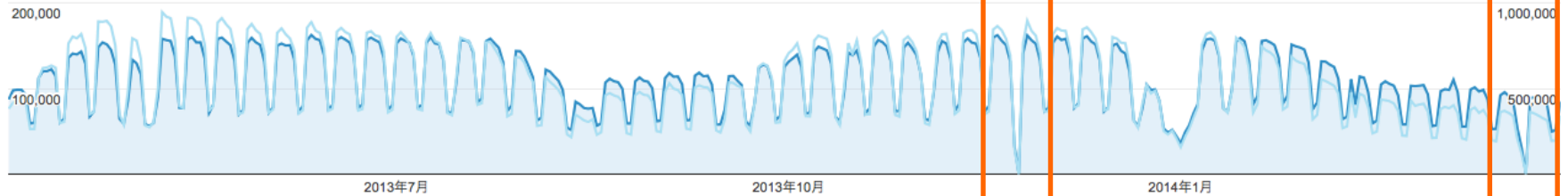
2009



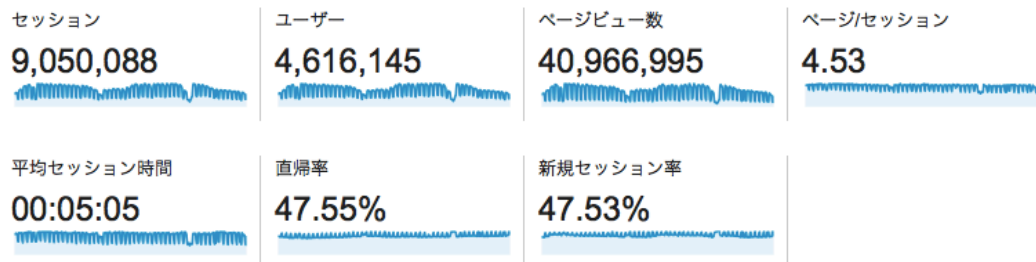
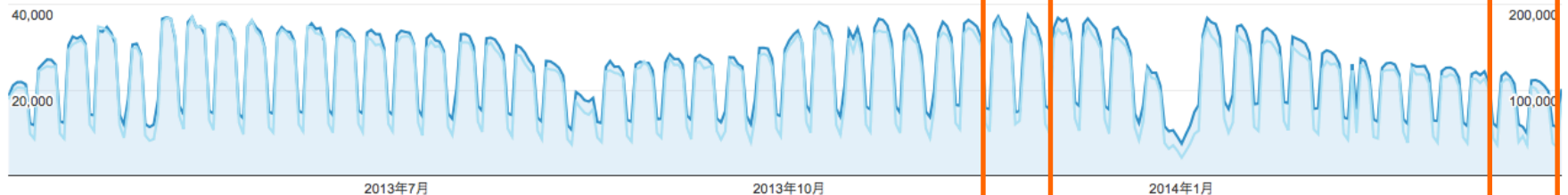
2013



Articles

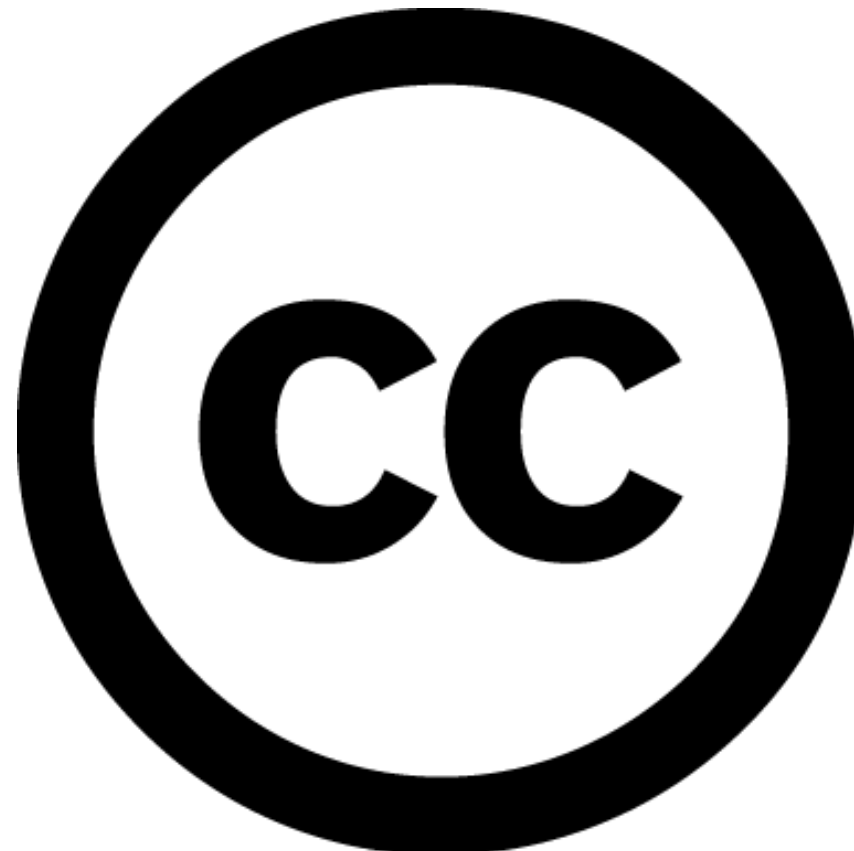


Books





国立情報学研究所 目録所在情報サービス
NACSIS-CAT/ILL Catalog Information Service



電子図書館事業の今後について

H26

- ・ 平成27年3月 バックナンバーの受付終了

H27

- ・ 平成28年3月 カレントの受付終了

H28

- ・ 平成28年度 バックナンバー・カレントの電子化・公開作業
- ・ 平成29年3月 機関定額・従量課金(PPV)の終了・還元金制度の終了

H29

- ・ 平成29年4月以降 未移行コンテンツのオープンアクセスでの公開継続(が可能)

http://www.nii.ac.jp/nels_soc/about/



GeNii 学術コンテンツ・ポータル [ジーニイ]

国立情報学研究所

[>> English](#)

→ まとめて検索

検索

※17のデータベースをまとめて検索できます。

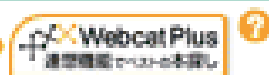
→ それぞれ検索



論文を探す >> >> >> >>



本・雑誌を探す >> >> >>



研究課題・成果を探す >> >>



分野別専門情報を探す >> >>



教育・研究成果を探す >> >>



研究に必要な情報を総合的に利用できるポータルサイトを目標します。

●国立情報学研究所の各種サービスを統合・拡充します。

●国内外の有用な学術情報資源と連携します。

[→ GeNiiについて](#)

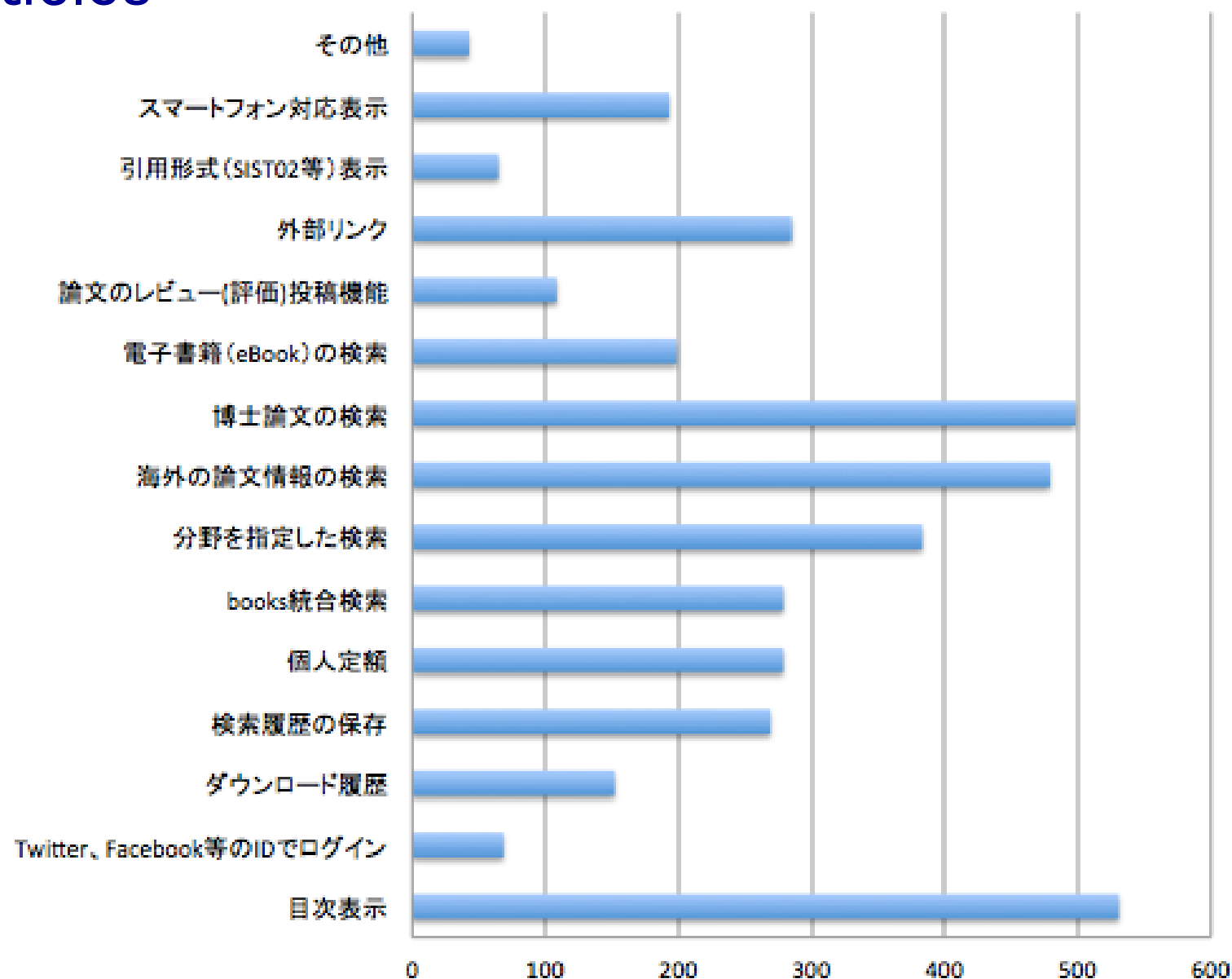
[→ GeNiiパンフレット](#)

NEXT

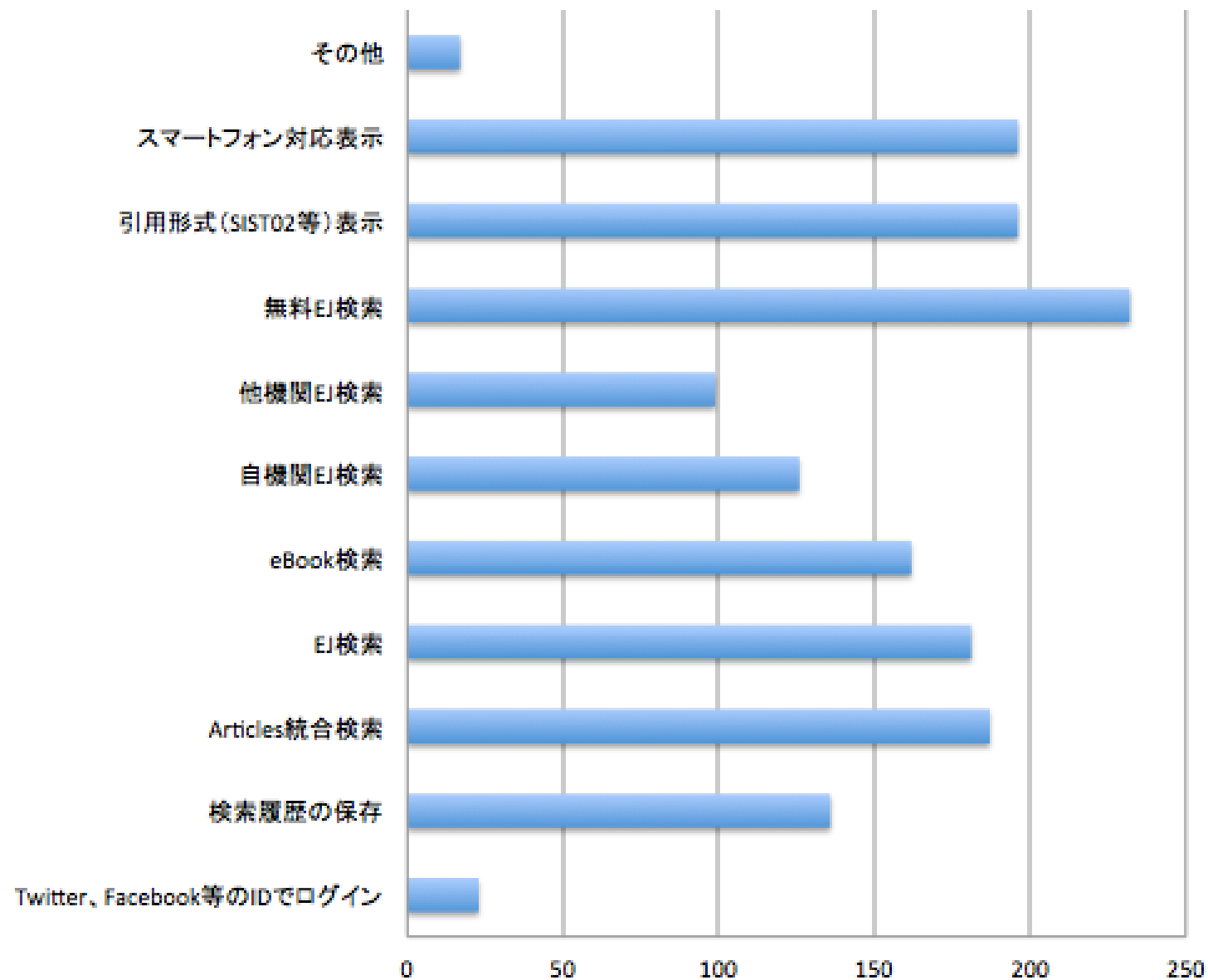




Articles



Books



- Booksにおけるデジタル情報へのナビゲーション強化
 - ERDBプロジェクト
- 雑誌
 - 国内: CiNii・J-STAGE・OA(ERDB-JP)
 - 海外: JUSTICE
 - 契約・アクセス情報
- 図書
 - 国内: NDLデジタルコレクション
 - 海外: HathiTrust
 - 学術情報システム総合ワークショップ2013の成果

Dissertations

- 博士論文に特化した検索・ナビゲーション
 - オンライン公開義務化への対応
 - 機関リポジトリ
 - NDLデジタルコレクション
 - 博士論文書誌データベース
 - NACSIS-CAT



博士論文をさがす

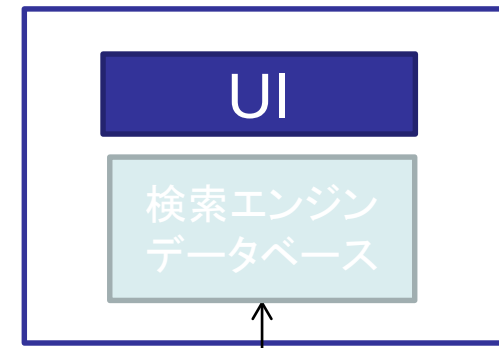
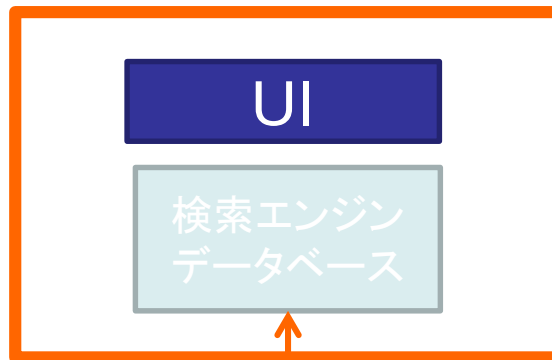
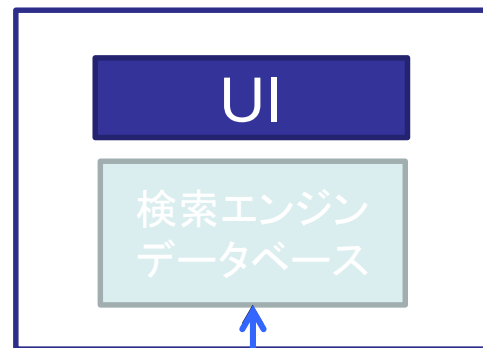
Dissertations



CiNii 大学図書館の本をさがす
Books

Dissertations

CiNii 日本の論文をさがす
Articles



NACSIS-CAT

ERDB

検索エンジン
データベース

IDDB

学位論文
名寄せ

CiNii Core

論文記事
名寄せ

ELS

CJP

雑誌記事索引

J-STAGE

HathiTrust

NDLデジタル
コレクション

NII-DBR

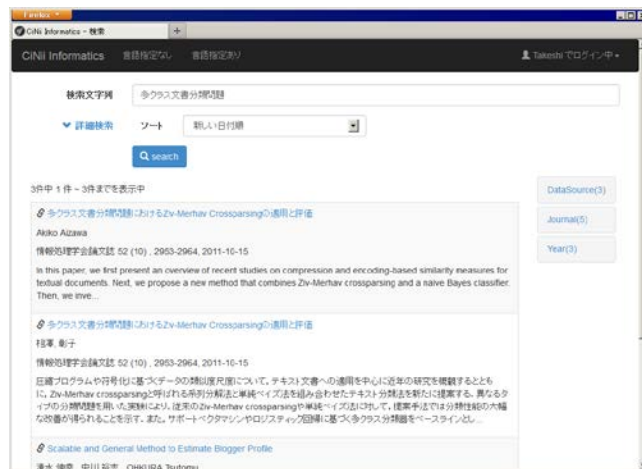
IRDB

JAIR Cloud Japanese
Institutional
Repositories
Online
Cloud

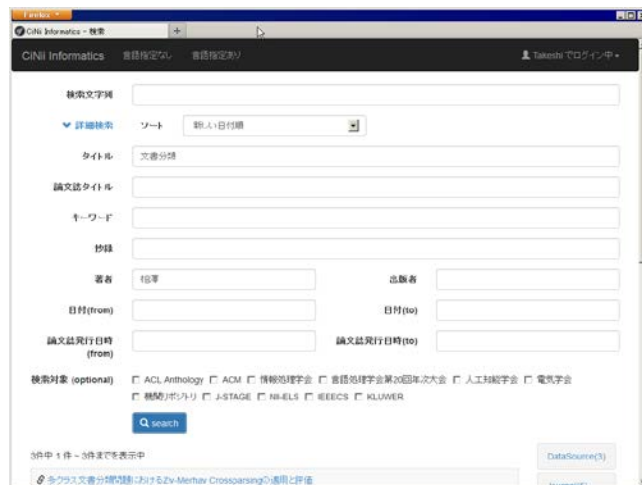
機関リポジトリ

Domain Specific

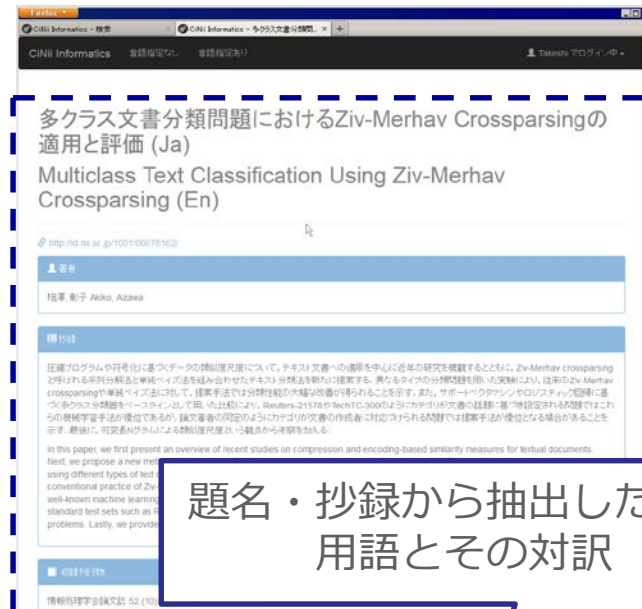
- 専門分野に特化した検索・ナビゲーション
 - 海外論文を含む文献キュレーション
- 研究と事業の統合モデル
 - 推薦アルゴリズム
 - 閲覧支援
- CiNii for Informatics (仮称)
 - まずは情報学から
 - オープンハウスでのプロトタイプ公開
 - 知識コンテンツ科学研究センターとの共同プロジェクト



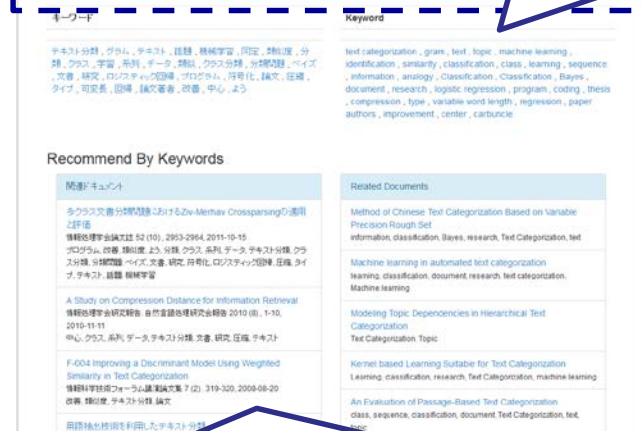
キーワードで検索



属性条件で検索



題名・抄録から抽出した学術用語とその対訳



用語を含む論文検索結果と対訳を含む他言語論文検索結果



脚注表示機能を備えた論文閲覧システム Sidenoter

阿辺川 武 相澤 彰子
国立情報学研究所
{abekawa, aizawa}@nii.ac.jp

1 はじめに

近年、学術文献の電子化は大きく進み、投稿から出版まで紙を経由することなく流通することが一般的になってきた。一部の海外学術出版社では独自の XML フォーマットを定義し、1つの XML ファイルから紙の印刷物や PDF、EPUB といった電子フォーマットへ変換する 1 ソースマルチチユースな出版工程を実現している。日本でも「科学技術振興機構 J-STAGE 3」において、本文 XML の入稿を推奨するようになるなど着実に XML 化が進んでいる。論文が XML フォーマットで保存されれば、XHTML に変換し Web ブラウザで自由な文字サイズで閲覧でき、PMC (PubMed Central) の PubReader² のようなデスクトップにもモバイルにも対応した専用ソフトで快適に閲覧できるようになる。

しかし、多くの学術出版では、電子化といっても紙に印刷可能な PDF ファイルのみを生成し、公開時には PDF ファイルをそのまま配布するにとどまっている。もともと PDF は印刷することを考慮して策定されたフォーマットのため、どのような環境でも同一のレイアウトを実現できるが、一方で画面の小さな端末に対して、コラム数を変更したり、文字サイズを変更するなどカスタマイズして表示することができない。また、電子化される以前に発表された論文についても、画像としてスキャンし、PDF に変換して電子的に配布するため、やはり PDF フォーマットの論文が数多く流通しているのが実情である。

我々は現在、論文閲覧システムを開発しているが、このような現状では PDF で配布される論文も対象とせざるを得ず、レイアウトの再現性重視のファイル形式をいかに扱うかが課題となる。幸い本文テキスト自体は、電子的に制作された PDF からは比較的容易に抽出でき、スキャンした画像からも OCR を用いて 100% の精度ではないが抽出できる。本システムでは、

論文のレイアウト重視の制約を逆に利用し、論文本文から得られる補足的な情報をページレイアウト上、そのまま表示する手法を開発した。言語処理学会では、20 周年記念事業の一貫として 2013 年 7 月に過去の年次大会の予稿集を学会 Web ページ上で公開しており、本システムは、学術文献の閲覧システムのケーススタディとして、この言語処理学会の年次大会の予稿集を閲覧するものとした。特に年次大会のような学会の会議に参加し、講中の予稿集の閲覧を支援するシステムになることを目指している。

本稿では、我々が開発している Sidenoter が備える機能および予稿集のデータ処理について概

2 システムの持つ機能

本システムの基本構造は、PDF を画像に変換し、Web ブラウザから見る。図 1 は、そのスクリーンショットである。

2.1 閲覧機能

- 連続ページめくり
紙の予稿集の冊子と同様にページ順に予稿を閲覧できる。従来は 1 つの予稿につき 1 つの PDF ファイルであるので、複数の予稿を連続して閲覧することは不可能であった。本システムでは検索時にヒットした予稿に対しては検索結果順に連続して閲覧できるため、検索結果と PDF を行きつ戻りつする手間を軽減できる。

- 拡大縮小表示
Web ブラウザの画面サイズやモバイルデバイスの画面解像度に応じて、適切な解像度の文書画像が

¹<http://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S230.ja.html>
²<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/about/pubreader/>

³<http://www.anlp.jp/guide/ueji.html>
⁴<http://kmc.nii.ac.jp/nlp/annual/> で公開中

論文上の該当する箇所を
直接参照できる

論文本文に関連する
外部リソースを脚注部に表示

専門用語の説明・関連文献・
関連動画などを表示する

- Step 1: 現行デザインの整理
 - デジタル資料対応にともなうリニューアル
- Step 2: 新たなインターフェイスの探求
 - タッチUIへの対応
 - サービス統合のプロトタイプ
- フィードバック
 - ログ解析基盤の構築と運用
 - 学術情報システム総合ワークショップ2014
 - 「学術情報サービスにおけるユーザ理解」
 - 共同研究募集中



Cinii 論文:大向 一輝

論文 63 件

CiniiのウェブAPI戦略 (特集 Web API活用術)

大向 一輝

抄録
(収録なし)

論文出版元
情報科学技術協会

NII論文ID (NAID) :
40020045924

本文言語コード :
JPN

NDL 記事登録ID :
025413765

NDL 雑誌分類 :
0913-3801

収録DB :
NDL

トピック :
学術情報サービス ウェブ
ライセンス Scholarly J

収録刊行物 :
情報の科学と技術 = The Journal of Information Science and Technology

Cinii 人:大向 一輝

大向 一輝

大向 一輝 オオムカイ イッキ

申請報告時の直近の所属
国立情報学研究所 / コンテンツ科学研究系 / 准教授

この研究者の論文
ID: 1000030413925

この研究者の図書
(登録無し)

この研究者の研究
番号: 30413925

この研究者のPC版ページを新規に開く +

論文: 著者数 2 人

大向 一輝 59件
オープンデータ活用:1. オープンデータとLinked Open Data

大向 一輝 1件
CiniiのウェブAPI戦略 (特集 Web API活用術)

2件 ここまで

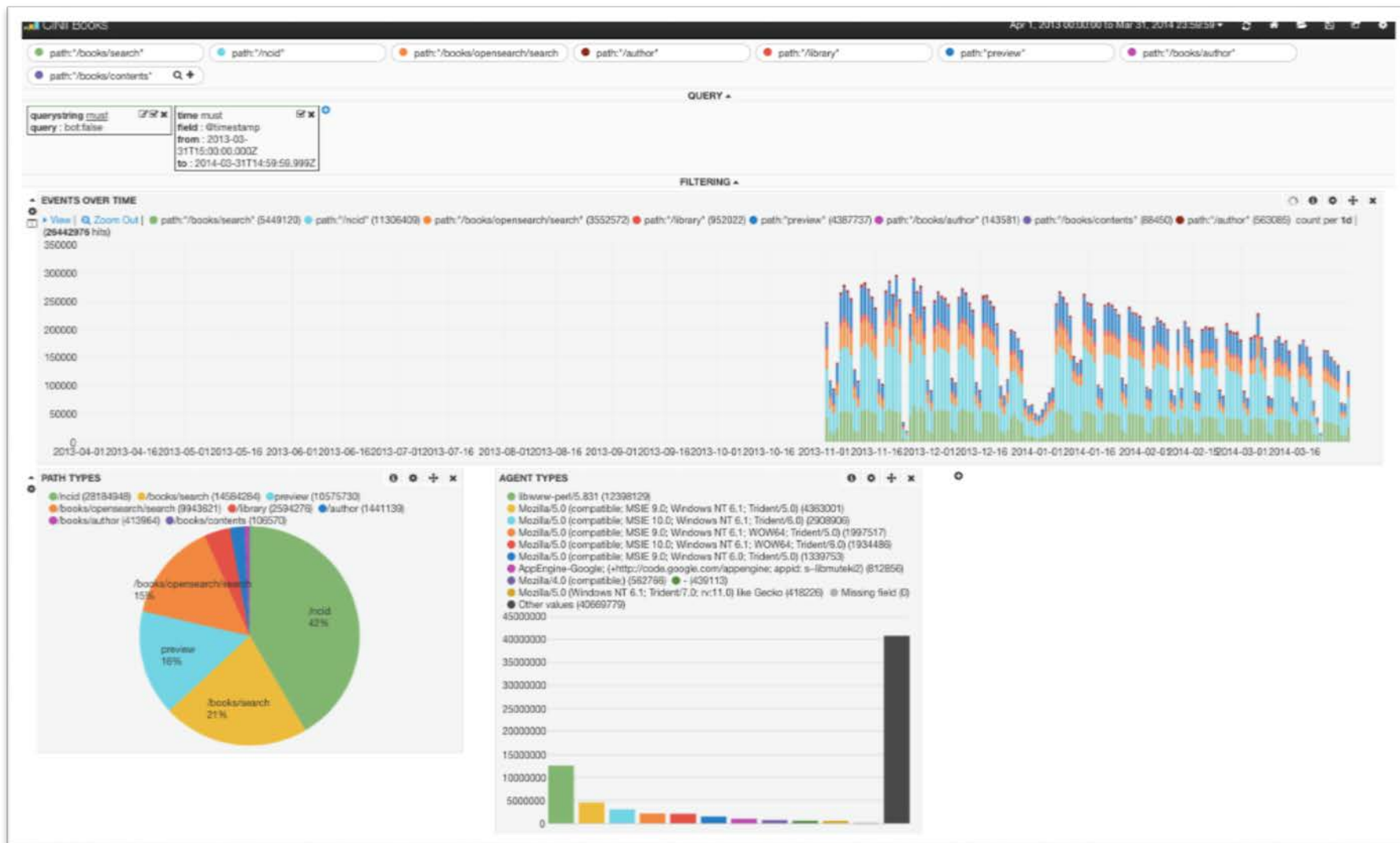
図書: 著者数 1 人

大向 一輝 4件
Linked data: webをグローバルなデータ空間にする仕組み

1件 ここまで

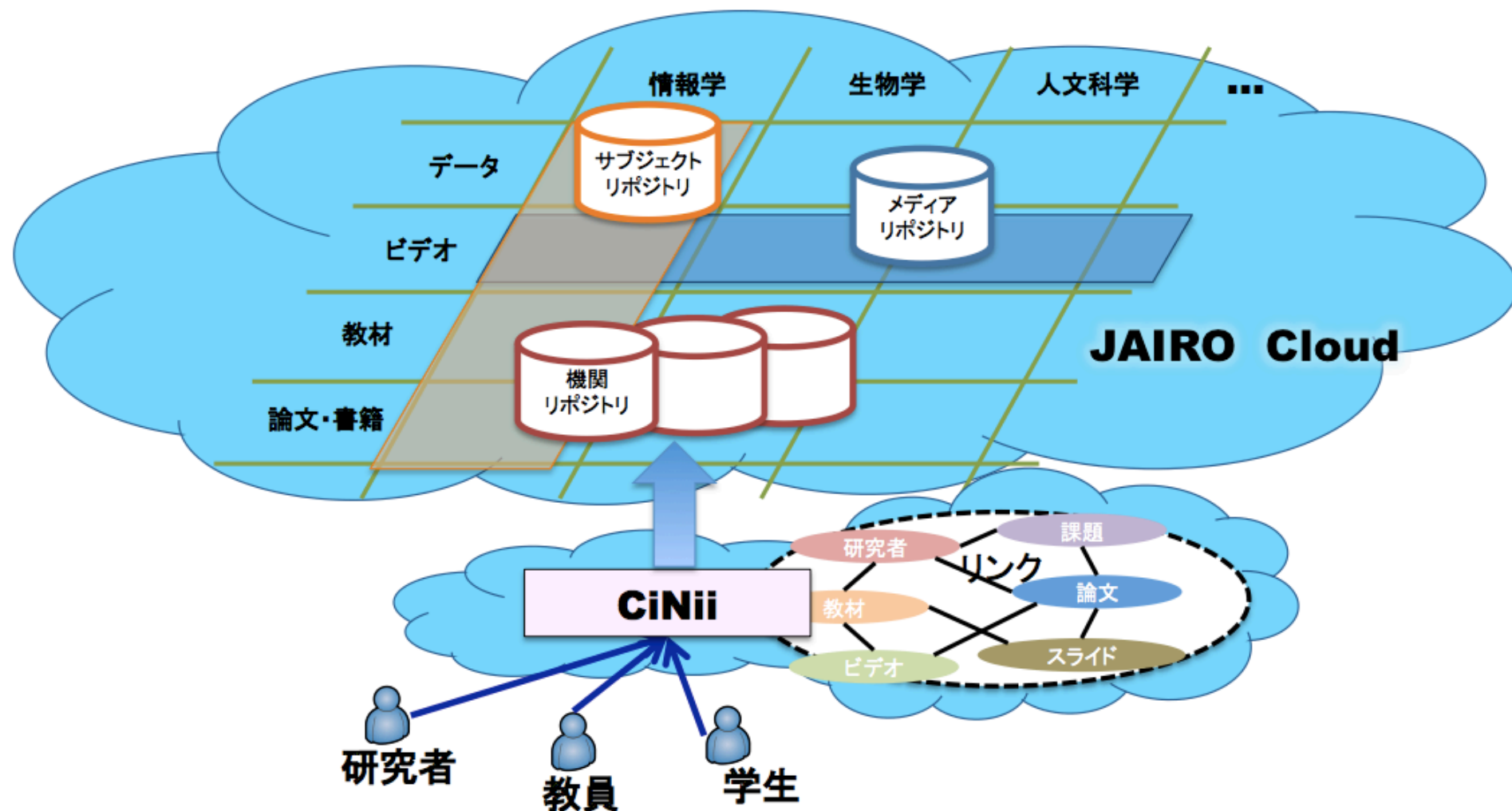
研究: 研究者数 1 人

大向 一輝(30413925)
国立情報学研究所 / コンテンツ科学研究系 / 准教授



S

INET5時代のCiNii

国立情報学研究所
National Institute of Informatics

文献はOne of them

分野ごと・メディアごとの支援

S INET5時代のCiNii

- サービスプロバイダとしての位置づけが明確に
 - 学術情報のインターフェイス
 - 研究データ・教育資源への展開
 - ユーザの理解・深い支援へ
- 図書館との連携によるコンテンツキュレーション
 - オープン化時代の複雑怪奇なデータの流れを制御する
 - 知識・経験・価値観
- 改善・改善・改善…
 - @cinii.jp